

Y19a **すばる望遠鏡 25 周年：マウナケアの星空を全国のプラネタリウムへ同時配信**

白田-佐藤 功美子, 石井 未来, 松元 理沙, 田中 壺 (国立天文台ハワイ観測所), 井上 毅 (明石市立天文科学館), 毛利 勝廣 (名古屋市立大学/名古屋市科学館), 持田 大作 (名古屋市科学館), 東山 正宜 (朝日新聞社)

1999年にファーストライトを迎えたすばる望遠鏡の25周年事業を推進している。記念動画制作、東京都三鷹市での企画展、公式サイト「すばるギャラリー」への毎月2枚の新画像掲載等と並び、日本プラネタリウム協議会(JPA)と「プラネタリウム100周年」×「すばる望遠鏡25周年」記念コラボを行った。2024年6月にJPA主催「全国プラネタリウム大会2024」にてアナウンスを行って参加館を募り、2024年10月19日の「全国一斉講演会」にてハワイから全国25の施設へ、マウナケアの星空や宮崎聡所長の講演をライブ配信した。2024年11月~2025年3月には、全国各地10の施設にてすばる望遠鏡関係者によるコラボ講演会を実施した。

「全国一斉講演会」では日本・ハワイ間の19時間の時差を利用し、ハワイの午後7時(日本の翌日午後2時)から開始し、既に暗くなったマウナケア山頂域の星空を全国のプラネタリウム館にライブ配信した。国立天文台が朝日新聞社と共同運用している「星空ライブカメラ」西向き特設カメラより、紫金山・アトラス彗星の姿が映し出された時には、観客から歓声が起こった館があった。さらに、すばる望遠鏡「全天カメラ」が捉えた画像が、ハワイ大学ヒロ校運用のMaunakea Weather Centerサイトにて随時更新されているが、プラネタリウムで使いやすい形式にした画像を名古屋市科学館サイトよりダウンロード可能にして、全国プラネタリウムで同時投映した。本講演では、全天周プラネタリウムでの投映と相性の良い全天カメラ画像ほか、すばる望遠鏡オンラインコンテンツ活用の可能性について紹介する。